

第123回拡大 地方委員会

労働条件改善の闘いと組織拡大の結合を

= 被災線区などの早期復旧、春闘、参議選に全力 =



= 70人が参加し開催された地方委員会 = (議長就任挨拶の荒矢委員)

委員会は11時10分に阿部副委員長の開会あいさつ、地方委員14人中12人の出席を報告、委員会成立を宣言。議長に盛岡施設分会の荒矢美登委員を選出し、あいさつを受け進められた。最初に地本執行委員会を代表し齋藤委員長があいさつ。(別掲)

次に来賓の豊巻浩也平和環境岩手県センター議長(岩教組)が挨拶。佐々木書記長が経過と当面する運動方針(案)を提案し討論に入った。討論では、組織拡大、三月ダ

委員・機関代表70人が参加 荒矢議長(盛岡施設)で進行

地方本部は、第123回拡大地方委員会を2月23日に岩手労働福祉会館(盛岡市)で委員・特別委員・分会代表者・地本役員ら約70人が参加する中で開催した。組織拡大を職場労働条件改善の闘いと結合し進める。被災線区・岩泉線については、早期復旧を願う関係者と連携し運動を進める。春闘は要求の実現に各種集会への取り組みを強化し、客・貨交流の取り組みを進めることなどを意思統一した。同時に脱原発の闘い、夏の参議院選挙で社会民主党公認の又市征治推薦候補の当選に向けた取り組みの強化も確認した。

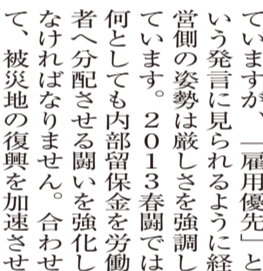


昨年未実施された解散総選挙の結果、3年3ヶ月の民主党政権に厳しい審判が下され、自公が政権に再び咲きました。第2次安倍内閣は前回にも増した右傾化の政権運営が

齋藤委員長あいさつ(要旨)

方針の確立を受け沢田執行委員が大会宣言を読み上げ堤案、承認。小林副委員長が閉会あいさつに立ち、議長の労をねぎらい、齋藤委員長の団結ガンバローで閉会した。

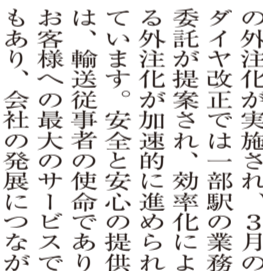
イヤ改正、職場実態などについて六人の委員から意見や要望、取り組みが報告され、執行部中間答弁と佐々木書記長の集約答弁を受け、当面する運動方針が全体の拍手で承認され確立された。(なお、方針討論の途中に仙台地方本部地方委員会で挨拶を行い参加した東日本本部松井書記長から情勢と当面する取り組みの報告を受けた)



強行されること懸念され、平和憲法の改悪や自衛隊を国防軍と位置づけ、日米同盟の強化を進めようとしています。また、マスコミをはじめ「アベノミクス」がもてはやされていますが、「雇用優先」という発言に見られるように経営側の姿勢は厳しさを強調しています。2013春闘では何としても内部留保金を労働者へ分配させる闘いを強化しなければなりません。合わせ

方針討論の発言要旨は次の通り。

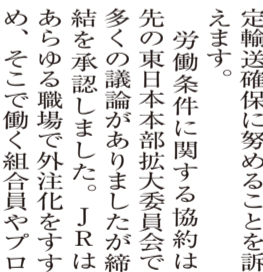
◎照井幸男委員 (北上駅連合分会) 盛岡運輸区北上派山の車掌が3月のダイヤ改正で廃止、寂しい思い出でいっぱいだ。



平和で安心して暮らせる社会を作るため、護憲・反戦平和・脱原発・消費税増税反対・オスブレイ配備反対・TPP反対を掲げる社民党を中心にした勢力の拡大のために7月の参議院選挙を全力で取り組む準備をお願いします。昨年10月1日から検修職場の外注化が実施され、3月のダイヤ改正では一部駅の業務委託が提案され、効率化による外注化が加速的に進められています。安全と安心の提供は、輸送従事者の使命であり、お客様への最大のサービスでもあります。会社の発展につなが

◎奈良岡勝委員 (青森施設分会) 労働組合員7人が転勤対象になっている。一ノ関・盛岡の車掌でなく駅への異動希望者もいる。団交で一定の成果があったと思う。また新職場でもよろしく願いたい。また北上線が全てワンマン化になる。藤根・北上駅間列車

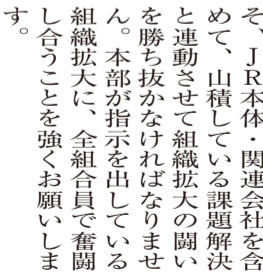
◎小原典昭委員 (青森駅連合分会) 通勤児童もいる。過去に事故の経験もある。学校に向き支社も指導するというが安全面を十分に考慮してほしい。



労働条件に関する協約は、先の東日本本部拡大委員会で、多くの議論がありました。JRは、結を承認しました。JRは、あらゆる職場で外注化をすすめる、そこで働く組合員やプロ

◎小澤万寿男委員 (釜石地域分会) 58歳の組合員、最後は希望地で退職という思いが強い。支社と折衝してほしい。

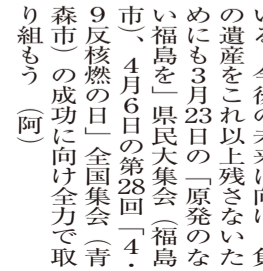
◎奈良岡勝委員 (青森施設分会) 主務・主任・指導職各1人が合格している。組合員に積



あるがマスコミに流されない運動を進めてほしい。

◎小原典昭委員 (青森駅連合分会) 今年1月に木村新吾さんが物販や署名などお願いし付き合ってきた中で加入してくれた。この間2005年から4人を拡大した。拡大に特別な思いはないが、拡大に自分も関わり自信もなっている。

◎大湊地域分会 下北駅がジャスターに委託になる。同駅は大湊駅などより収入は多いがジャスター化の基準はあるのか。



◎岩崎毅委員 (大湊地域分会) 今年1月に木村新吾さんが物販や署名などお願いし付き合ってきた中で加入してくれた。この間2005年から4人を拡大した。拡大に特別な思いはないが、拡大に自分も関わり自信もなっている。

◎岩崎毅委員 (大湊地域分会) 今年1月に木村新吾さんが物販や署名などお願いし付き合ってきた中で加入してくれた。この間2005年から4人を拡大した。拡大に特別な思いはないが、拡大に自分も関わり自信もなっている。

◎岩崎毅委員 (大湊地域分会) 今年1月に木村新吾さんが物販や署名などお願いし付き合ってきた中で加入してくれた。この間2005年から4人を拡大した。拡大に特別な思いはないが、拡大に自分も関わり自信もなっている。

方針討論

組織拡大・職場実態 春闘など6人が発言

本部会計監査 4月13日(盛岡) 地方本部・支部役員組織対策会議 4月16日(盛岡) 7月17日(盛岡) 岩手県交運労協幹事会

無料法律相談 担当 菅原 瞳 弁護士 (盛岡市) <問い合わせは地方本部へ>

当面の主な日程 3月13日(盛岡) 第6回地方本部執行委員会 3月16日(盛岡) 盛岡支部春闘交流会 3月23日(福島) 原発のない福島を！県民大

本部会計監査 4月13日(盛岡) 地方本部・支部役員組織対策会議 4月16日(盛岡) 7月17日(盛岡) 岩手県交運労協幹事会

ていこう 福島第1原発事故から丸2年が経過したが、廃炉が決まった原子炉の高濃度に汚染された瓦礫・汚染水、核燃料棒の抜き取り・処分問題など、事故処理の目途は未だに立っていない。それにもかかわらず、昨年12月の衆議院選挙で復帰した自公連立政権・安倍内閣は、民主党政権が掲げた「2030年代に原発稼働ゼロ」という政策を「ゼロペー



東日本本部 松井書記長



交運共済生協東北支所 太田副部長



社民党岩手県連合 細川幹事長



平和環境岩手県センター 豊巻議長

来賓の方々も激励・連帯の挨拶

委員会では4人の来賓からあいさつを受けた。要旨は次の通り。

「脱原発・過疎化の進む実態などと安全問題などを結合し闘いを進めていく。3.23原発のない福島を！県民大集会への参加や参議院選挙への協力をお願いしたい」(豊巻浩也) 岩手県平和センター議長、「衆議院選挙は厳しい選挙だった。安倍政権は、憲法改正をはじめ歴史認識、原発問題などで時計の針を逆へと動かしている。そうした動きの阻止に向け7月の参議院選挙では協力をお願いしたい」(細川光正) 社民党岩手県連合幹事長、「今年には雪も多く雪害も予想される。遠慮せず申請をしてほしい」(太田博二) 交運共済東北支所副部長。

松井正義国労東日本本部書記長からは、東日本本部内の情勢と今後の取り組みの報告を受けた。



田村公治委員 (青森貨物分会)

「一面から続く」
極的に受験を進め差別をなくする闘いを進めたい。
▽会社の技術継承、国労組合員に頼っているのが現状。他
労働者の筆頭主任のみでなく国
労組合員の筆頭主任も出てき
ている。こうした動きをしつ
かりとらえて組織拡大に取
り組みたい。
▽今年の大雪で対策本部を設

置、直轄を超える労力、東労組にも不満がでている。外注会社の対応も大変だ。

◎小澤万寿男委員 (釜石地域分会)

▽釜石でのSL運行に伴う、ホテル建設やそれに伴う職場の移転問題なども噂されているが、支社から計画の話はあるのか。

◎田村公治委員 (青森貨物分会)

▽貨物会社の春闘、ベア・ゼロが続きあきらめムードあるが、国労の要求署名には他労組も協力してくれている。各地区での集会に皆さんの協力をお願いしたい。その運動を拡大運動に結び付けたい。

執行部中間答弁 (要旨)

執行部による中間答弁は(要旨)は次の通り。

- 青森駅連合、青森施設分会の拡大の取り組みは続けてほしい。他の分会も取り組みを強化してほしい。
- 組織拡大は職場での仕事がないワーク、国労が改善に取り組んでいこう。
- 盛岡運輸区北上派出の車掌廃止に伴う面談、自分の希望をしっかりと会社に述べてほしい。移動先分会ではしっかりと

したホローをしてほしい。
○ワンマン化については、会社と対立。今後も安全面も含め取り組んでいく。
○駅のジャスター委託化の収支の基準は明確なっていない。下北駅はエルダー社員の職場確保の位置づけとしよう。
○青い森鉄道からのJR出向者が戻る問題は、プロパー社員やJRエルダー職場の確保の関連もあると思う。
○技術継承は大切な問題だ。我々としても努力が大切と

自信を持ち拡大運動を取り組もう 脱原発、平和を守る闘いの強化を

佐々木書記長集約 (要旨)



の可処分所得の増加・正規雇用の拡大等で消費と内需拡大が必要だが、政府は、中小企業や多くの国民を切り捨てようとしている。賃上げや国民生活の向上に労働者が団結し春闘という闘いを創り出さなければならない。中央・地方からしっかりと闘い、春闘を盛り上げ、5000円の賃上げをはじめとする要求実現にむけての取り組みを強化する。

「政治闘争の強化」
自公で325議席と絶対安定多数となり、衆議院480議席の76%を改選派が占めることに。安倍首相は歴代で初めて憲法96条改正に言及し、戦争のできる国づくりを目指している。加えて、原発推進路線では、国民は生命も財産も奪われることになる。平和で安心して暮らせる社会を保障する平和憲法を守り脱原発・反核運動前進のために参院選を勝利しよう。

「2013年春闘の闘い」
日本経済の再生には、国民

確認された5つの展開

1. 各級機関は、当面する諸課題と取り組みについて集會等を開催し意思統一しませう。
2. 2013年春闘と労働者派遣法の抜本改正や交通基本法制定運動の取り組みと結合させ、制度・政策要求の現実に向け全力をあげて取り組みます。
3. 2月12日にJR東日本・貨物会社に申し入れた「新賃金要求等」の実現に向け、「3.5国労東北総決起集会」をはじめ職場・地域での取り組みを強化します。
4. JR東日本との正常かつ健全な労使関係を確立し、国労の組織強化・拡大に向け全力で取り組みます。
5. 安全・安定輸送確立の取り組みを各級機関で強化します。また、4月の「ITF国際鉄道統一行動」および4月25日の「国労安全行動日」等を全国統一行動として取り組みます。
6. 会社施策導入後の職場実態の検証・点検行動を取り組みます。また、労働条件改善をめざし「1職場1改善要求・仕事総点検運動」を強化します。
7. 音威子府・帯広の事業体商品購入の取り組みを継続します。
8. 第84回ミーターの成功に向けて積極的に参加します。

42人が参加し担当者会議

「交運共済生協東北支所」

2月17日、岩手労働福祉会館で全国交運共済生協東日本事業本部東北支所主催の国労地方本部の担当者会議(42人参加)が13時15分から開催された。

会議では、太田博二副部長の挨拶後、吉田和弘次長、中堤友絵職員から①2013年度7月期火災・地震風水害・交通災害・生命・入院共済加入促進②2013年度7月期の施策の調査・点検・検証や「労働条件に関する協約」の改定を取り組む。貨物職場の諸問題も、点検・調査を行い本部等と連携し取り組み、新幹線開業の諸課題は、関係機関と連携し不安解消に努める。

「公共交通を守る闘い」
「交通基本法」は3度目の廃案という結果となったが、交運共済協会は引き続き制度にむけて取り組みとしており、国労も、総合物流政策や環境問題からも、国労の政策提言の実現とあわせ関係機関と連携して運動を進める。被災線区・岩泉線については、「復興調整会議」の議論を見守りつつ「岩手県交通問題対策会議」力をあげます。

4. JR東日本との正常かつ健全な労使関係を確立し、国労の組織強化・拡大に向け全力で取り組みます。

5. 安全・安定輸送確立の取り組みを各級機関で強化します。また、4月の「ITF国際鉄道統一行動」および4月25日の「国労安全行動日」等を全国統一行動として取り組みます。

6. 会社施策導入後の職場実態の検証・点検行動を取り組みます。また、労働条件改善をめざし「1職場1改善要求・仕事総点検運動」を強化します。

7. 音威子府・帯広の事業体商品購入の取り組みを継続します。

8. 第84回ミーターの成功に向けて積極的に参加します。

「がん」の保障 <生きるためのがん保険Days(デイズ)>

保険期間:終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢:0歳~80歳、スタンダードプラン 入院給付金日額10,000円の場合		
初めて診断確定されたとき	がんの場合	一時金として 100万円
診断給付金	上皮内新生物の場合	一時金として 10万円
入院したとき	入院給付金	1日につき 10,000円
通院したとき	通院給付金	1日につき 10,000円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき 20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき 20万円
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金	抗がん剤治療を受けた月ごとに1カ月 10万円 (すべての保険期間を通じ通算600万円まで) 乳がん・前立腺がんのホルモン療法するとき 1カ月 5万円
プレミアムサポート	訪問面談サービスと専門医紹介(このサービスは、株式会社 法研が提供するサービスです)	

「生きる」を創る。Affac

◆月払保険料(団体取扱) (2011年4月1日現在)
生きるためのがん保険DAYS(デイズ) スタンダードプラン
入院給付金日額10,000円 定額タイプ
保険料払込期間:終身(抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,656円	5,608円	9,360円	15,190円
女性	3,734円	5,274円	6,864円	9,048円

<抗がん剤治療特約>の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

<引受保険会社>
アフラック 東京第二法人営業部
〒163-0456
東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き
コールセンター 0120-5555-95

<募集代理店>
アベニール株式会社 TEL:03-3437-6810 FAX:03-3437-6822
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F

■事務上の問合せ先
盛岡国労会館 TEL:019-652-4841 FAX:019-651-7720
〒020-0033 盛岡市盛岡駅前北通り4-4